

最高裁は19日、裁判員候補者に辞退希望などを答えてもらう調査票の回答が、期限の15日までに約10万9000通届いたと発表した。候補者29万5027人の3人に1人が回答した計算になる。

調査票は、11月28日に候補者に郵送された通知に同封され、①警察官や自衛官など裁判員になれない職業か②70歳以上や学

3人に1人 「辞退したい」

生、重い病気やけがの人で辞退を希望するか③仕事や行事などで参加が困難な月はあるか(2カ月まで)——を回答できる。

■裁判員候補者

当てはまる項目がなければ返送しなくてもよい。

回答内容は明らかにされていないが、最高裁が候補者向けに

設置したコールセンターに寄せられている問い合わせの半数以上は裁判員辞退に関する質問で、「辞退できるか」への関心が高いことがうかがわれる。

一方、発送した候補者通知のうち約2700通があて先不明で候補者の手元に届かなかつたり、受け取り拒否で戻ってきたことも明らかになった。

【北村和巳】